

# THE RECORD

Special Feature

## 急がれる “違法な携帯音楽配信”対策

世界のデジタル音楽市場

IFPIデジタルミュージックレポート2007より

社団法人 日本レコード協会



## 人こそ資産

コロムビアミュージックエンタテインメント株式会社  
代表取締役社長 廣瀬禎彦



レコード業界に入学して3年経ちました。幼稚園なら3年保育卒業、小学校からでも、まだ小学4年生に上がったばかりです。これまでの経験はほとんどがハイテク業界(約30年)、その後ビデオゲームビジネス、ベンチャー、そして音楽産業です。この間、一見全く違うように見える業種経歴ですが、ひとつだけ共通しているところがあります。それはITの世界から音楽の世界まですべてソフトウェアの世界を歩いてきたことです。思いがけない共通点に自分で気づき、いささか驚いています。あまり深く考えないで職を転々としてきたのですが、そこには根幹的な共通点があったのです。

ソフトウェアはすべて人間が手を動かして、体を動かして作り出す知的資産です。コンピューターソフトウェアも雑誌もゲームもすべて知的生産物です。その中で、音楽は他のものと比べて最も歴史の長い知的生産物であり、知的資産です。人間は言葉を話し始める以前に歌を歌い始めたと言われていました。その音楽業界に来て、最も感じたのは、ソフトはすべて人に絡んでいますが、音楽は最も人との関係が深い創造物であり、ビジネスであることです。人が最も重要な役割を果たし、人が最も大切な産業、その音楽産業で仕事ができることはとても感銘深いものがあります。さらに、人の作り出すものについて人が皆尊重すべきであり、尊重するという文化があって初めて優れた知的資産が生まれると考えています。

## Contents

Special Feature	
急がれる“違法な携帯音楽配信” 対策 .....	2
世界のデジタル音楽市場	
IFPIデジタルミュージックレポート2007より .....	7
レコードよもやまばなし .....	9

INFORMATION SQUARE .....	10
Monthly Production Report .....	12
Data File .....	13
Gold Album+...認定 .....	14

# 急がれる “違法な携帯音楽配信” 対策

—RIAJ「違法な携帯電話向け音楽配信に関するユーザー利用実態調査概要」と音楽業界が取り組むべき様々な施策

「着うた」の普及拡大など順調に成長してきた携帯音楽市場に、最近、大きな影を落とす事態が生じています。昨年夏ごろから違法な携帯音楽配信が急速に広がり、問題化しています。個人が市販のレコード音源から作った音楽ファイルを、「着うた」「着うたフル」などと称して、権利者の許諾なく、携帯インターネット利用者向けにアップロードするという違法行為です。いわゆる「勝手サイト」として運営される掲示板サイト等を利用して簡単操作でアップロード・ダウンロードできること、主に無償で提供されることなどを特徴として、「無料かつ容易に楽曲の取得が可能である」「パケット定額制や音楽機能を強化した携帯機種が普及した」といった理由を背景に、まさに燎原の火のごとく広がっています。

まん延しつつあるモバイル違法配信が、健全な音楽創造のサイクルの破壊をもたらし、音楽文化に対する重大な脅威になるという共通認識のもと、音楽業界では、その根絶に向けた諸施策への取り組みを急いでいます。昨年12月には、当協会を含む音楽関連6団体と携帯電話キャリアの協力体制がスタートしました。また、当協会では、違法対策の一環として、モバイル違法配信の利用実態・被害状況の把握や適切な対応策の検討・実施に資するべく、ユーザーの利用実態について調査を行い、本年1月末に公表しました。今回の特集では、同調査の結果をダイジェストで紹介するとともに、今後我々が取り組むべき対策を考えていきます。

## 違法な携帯電話向け音楽配信に関するユーザー利用実態調査概要

### 1 調査の概要

■ 実施期間：2006年11月3日～8日

■ 実施手法：モバイルアンケート

■ 全体サンプル数：1,036

#### ■ サンプル詳細

(年代と有料着うたサイト利用状況によりスクリーニング)

	有効サンプル数
半年以内利用者	
12～15才（中学生以上）	97
16～19才	110
20～24才	103
25～29才	103
30～34才	103
35～39才	103
半年以内非利用者	
12～15才（中学生以上）	20
16～19才	117
20～24才	70
25～29才	70
30～34才	70
35～39才	70
合計	1,036

#### ■ 調査目的

携帯電話ユーザーの違法音楽配信の利用実態を把握し、適切で効果的な対応策の検討における資料とする。

#### ■ 調査委託先

株式会社野村総合研究所

#### ■ サンプルのウェイトバック方法

性別・年代(総務省統計)と着うた利用率(本アンケートスクリーニング用事前アンケート)によりウェイトを算出し、データを修正した。

#### ■ ウェイトの一覧

	着うた利用者	非利用者
男性		
12～15才	2.0903	0.6301
16～19才	1.4999	0.3516
20～24才	1.7985	0.8153
25～29才	1.5899	1.4479
30～34才	1.6320	2.9615
35～39才	1.0460	2.0863
女性		
12～15才	0.8884	0.2784
16～19才	0.9055	0.1304
20～24才	0.9473	0.5951
25～29才	0.7793	0.8842
30～34才	0.6682	1.1055
35～39才	1.0872	1.6390

2 違法サイト認知・利用状況

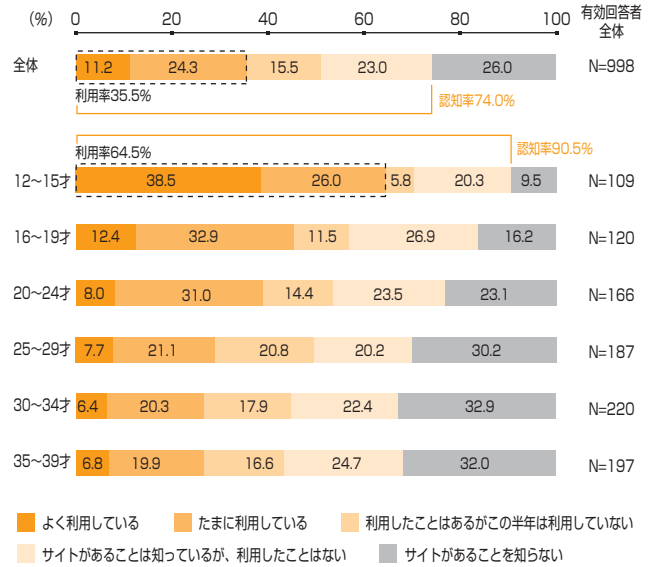
3人に1人が利用、認知も進展

- 違法サイトはすでに3人に1人が利用している。また、70%以上がサイトの存在を知っていた。
- 年代別では10代前半が飛びぬけて両値が高い事が分かる。若年層の違法サイトに対する関心の高さが分かる。



【着うた(ワンフレーズ・フルコーラス含む)】を無料でダウンロードできる携帯電話のサイトを利用した事がありますか？

年代別違法サイト利用・認知状況



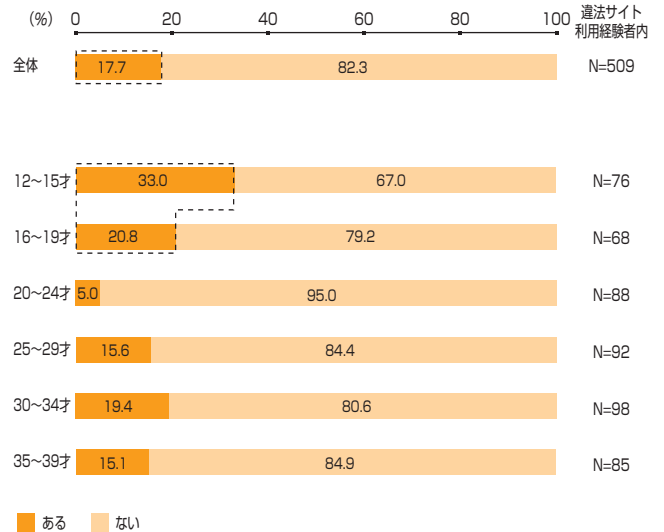
特に顕著な10代のアップロード経験

- 12-15歳は33%、16-19歳は21%が音楽ファイルのアップロードの経験がある。
- 全体でも約18%が経験者である。



無料ダウンロードサイト(掲示板含む)に【着うた(ワンフレーズ・フルコーラス含む)】のファイルをアップロードした事がありますか？

違法サイトへの楽曲アップロード経験の有無



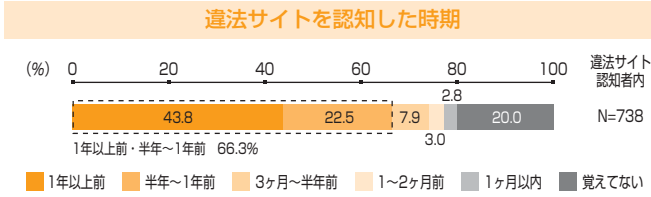
※分析内のNはウェイトバック後の数値である。

### 3 違法サイトの認知時期・経路

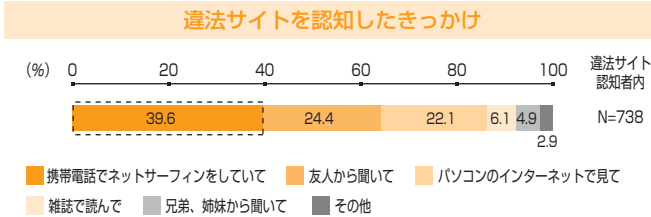
#### 調査半年前(2006年5月ごろ)には、周知の状況

- 半数以上の66%が半年以前に違法サイトを知ったと答えている。
- 知ったきっかけとしては、携帯電話でのネットサーフィンが40%と最も有力な認知経路である。次が友人からの口コミ、パソコンでのインターネットとなる。

**Q** 【着うた(ワンフレーズ・フルコーラス含む)】の無料ダウンロードサイトを知ったのはいつ頃ですか？



**Q** 【着うた(ワンフレーズ・フルコーラス含む)】の無料ダウンロードサイトを最初に知ったきっかけは何でしたか？



### 4 違法音楽ファイルの推定ダウンロード数

#### 年間で約2億8,700万ファイル以上と推定

- 違法サイト利用者数の推定値を性別・年代別に計算し、本調査で得られた違法着うた・着うたフルの平均ダウンロード数を掛け合わせ算出する。
- 調査時点で月間約2,390万以上の音楽ファイルがダウンロードされているものと推定され、これを年間に換算すると約2億8,700万ファイル以上となる。

(注) 利用者数は、総務省統計及び「ケータイ白書2007」から得られるモバイルインターネットの利用者数に対して、本調査で得られる違法サイト利用率に補正を加えた値を掛け合わせ、算出した。  
(「ケータイ白書2007」モバイル・コンテンツ・フォーラム監修)

#### ダウンロード数試算の流れ

(違法着うた)  
違法着うた利用者数 (12-39歳：男女別5歳刻み) × 違法着うた 月間平均ダウンロード数 (12-39歳：男女別5歳刻み)  
= 合計約1,950万ファイル/月

(違法着うたフル)  
違法着うたフル利用者数 (12-39歳：男女別5歳刻み) × 違法着うたフル 月間平均ダウンロード数 (12-39歳：男女別5歳刻み)  
= 合計約440万ファイル/月

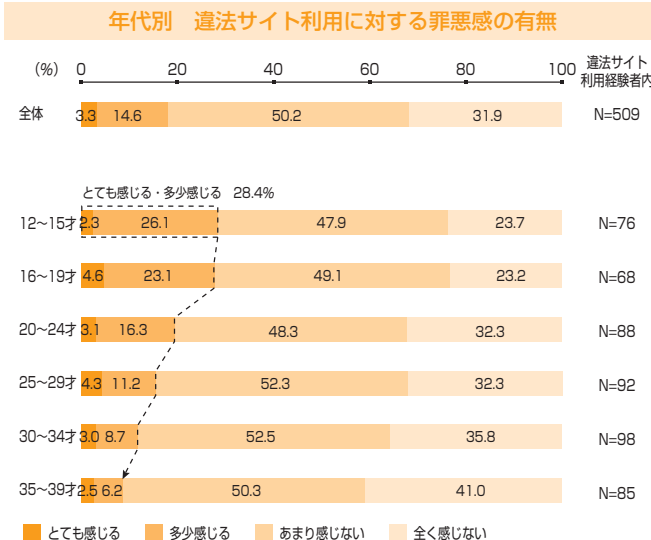
総合計→ 【月間】約2,390万ファイル  
×12ヶ月→【年間】約2億8,700万ファイル  
(着うた2億3,400万ファイル/着うたフル5,300万ファイル)

### 5 違法サイトの利用意識

#### 年齢が上がると薄くなる罪悪感

- 違法サイトの利用に対する罪悪感は10代では30%程度が持っているのにも関わらず、年代が高くなるにつれ、罪悪感が無くなっていく。

**Q** あなたは無料ダウンロードサイトを利用する際に後ろめたさを感じますか？

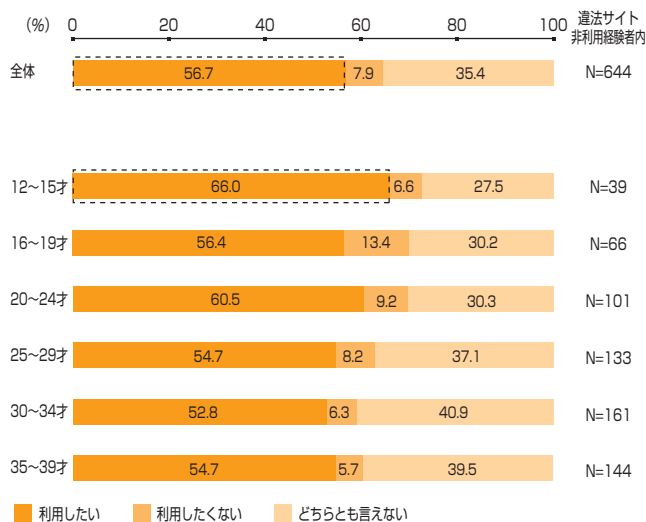


## 相当数控える「利用者予備軍」

- 現在利用していない人の約半数が、違法サイトを利用したいと思っている。
- 年代別に見ると、利用率と同じく利用意向も10代が最も高い事が分かる。

**Q** 無料で【着うた(ワンフレーズ・フルコーラス含む)】ダウンロードできるサイトを今後利用したいと思いますか？

年代別違法サイト利用意向

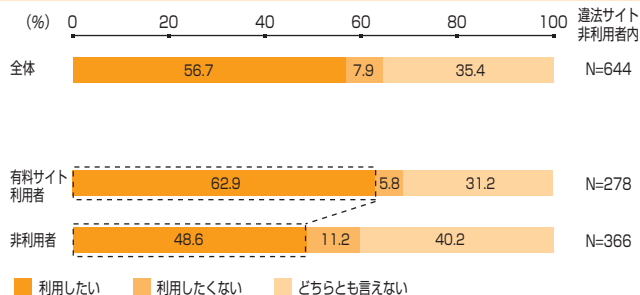


## 今後の利用意向は全体の約6割

- 現在違法サイトを利用していない人の違法着うたサイト利用意向を持つ人は57%と非常に高い。
- 特に有料サイト利用者においては60%を越えている。

**Q** 無料で【着うた(ワンフレーズ・フルコーラス含む)】ダウンロードできるサイトを今後利用したいと思いますか？

違法サイト利用意向



※分析内のNはウェイトバック後の数値である。

また以上のほかにも、本調査の結果から次のような状況が明らかになっています。

- ・ 「違法サイト利用に後ろめたさを“まったく感じない”“あまり感じない”人が8割以上にのぼる」
- ・ 「10代では、友人の口コミが違法サイト認知の主なきっかけとなり、4割以上を占める」
- ・ 「違法サイト利用者は著作権に関する知識はあるが、それが罪悪感に結びつかない」

## MARKET VIEW

### 拡大基調を続ける有料音楽配信市場

有料音楽配信市場は、携帯電話音楽の浸透やブロードバンド環境の整備、携帯音楽プレーヤーの普及などを背景に数年前から飛躍的な拡大を続けてきました。昨年1年を見ても売上およそ534億円、前年比56%増という順調な成長を示し、音楽市場全体に活力を吹き込む新たな分野として、確固たる地位を確立しつつあります。今後へ向けても、光ファイバー通信へのシフトやユビキタスな環境の進展など、社会におけるデジタルインフラの発展は本格化していくと見られ、映像分野などを含めたデジタル・コンテンツ市場の成長ポテンシャルは大きなものがあります。魅力的なコンテンツの育成と健全な市場形成のためにも、違法配信対策は不可欠です。

## 「モバイル違法配信はもはや待ったなしの状況。 多角的なアプローチで、効率の良い対策の実践が急務です」

エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社  
コーポレート企画本部 知財戦略室 室長代理兼契約開発グループ長  
鈴木裕子氏



エイベックス・グループ・ホールディングス(株)の鈴木氏は、当協会の違法対策ワーキングチーム座長として、モバイル違法配信対策の最前線に立ち、施策の推進にあたっています。今回の調査結果を踏まえながら、モバイル違法配信の状況や取り組むべき施策について語っていただきました。

「携帯電話の違法な音楽配信が、若い人たちに広がっている」—調査で明確になったこの状況は、ある程度予測していました。しかし、思った以上に事態は深刻なことが読み取れて、早急な対策の実践が必要であると、さらに認識を深めました。特に違法な携帯音楽配信の利用に対する意識的なハードルの低さが顕著に表れて、ショックを受けています。例えば、万引きに対しては、一般的に強い抵抗感があります。ところが、翻って違法配信に対しては、後ろめたさを感じないで利用している人が多いという現状がある。加えて、違法配信の一般的な認知度は高く、その上で今後利用したいと考える人たちも多くいて、今しっかり対策を行わなければ、本当にまん延してしまうと容易に予測できます。まさに危機的な、待ったなしの状況です。

実効的な対策が急がれますが、いくつかの方向性が考えられます。一つは法的な分野での対応であり、違法なアップロードに対する削除要請もそうした施策に含まれます。例えば、エイベックスでは違法配信対策の専任スタッフを置いて、昨年7月から削除要請活動を本格化し、実際に効果も現れてきました。この施策は手間がかかりすぎるのが課題であり、今後より効率的かつ継続的に見える

仕組みづくりが求められます。また、悪質なケースに対しては、刑事告発も視野に入れた別の対応も必要となるでしょう。その他、違法モバイル配信からのダウンロードを私的複製の権利制限から除外する法改正も重要です。

他方、広報啓発活動によるネットモラルの向上は、今後の重要なカギになると考えられます。特に若年層の多い状況で、学校の先生や親に問題の詳細を理解してもらうことが不可欠です。その上で教育現場と協力しながら、子どもたちに確実にアプローチしていかなければなりません。

その一方で、不正がはびこらないようにするネット環境づくりも大切です。その観点から、音楽関連団体と携帯電話キャリアが協力して問題にあたる体制を築けたことは、大きな前進でした。今後は、効果的な予防措置の構築なども視野に入れた検討を、連携して行っていきたいと考えています。

法的対策、広報啓発、環境整備の3つの方向性から綿密に対策を組み立て、業界全体で音楽の文化を守っていかなければならないと、思いを新たにしています。

(談)

当協会では、携帯電話の違法配信を含めた違法な音楽利用の根絶に向け、さまざまな著作権啓発キャンペーンを展開しています。改めてその概要をご紹介します。

### ■ Respect Our Musicキャンペーン

アーティストや作詞・作曲家を含め、音楽やコンテンツ産業に関係する人たちの協力のもと、業界を挙げて取り組む不正コピー・不正アップロード対策のキャンペーン。5年間にわたる継続的な活動を通して、音楽を正しく聴く大切さをアーティスト・メッセージに込めて、音楽ユーザーにダイレクトに訴えている。



Respect  
our MUSIC

### ■ 不正アップロード防止キャンペーン

(社)私的録音補償金管理協会(sarah)の助成により、当協会を含む音楽関連等7団体が展開。今年度は、インパクトのあるビジュアルと検索キーワードとしても記憶に残る「音楽違反」のコピーで、音楽の不正アップロードが「厳罰を伴う犯罪」であることを強く訴求し、不正を許さない厳しい姿勢を前面に打ち出している。





IFPI (国際レコード産業連盟) は本年1月、2006年の1年間における世界のデジタル音楽市場動向を詳細に分析・解説した「IFPIデジタルミュージックレポート2007 (IFPI: 07 Digital music report)」を発行しました。その要点を紹介します。

# 世界のデジタル音楽市場

## IFPIデジタルミュージックレポート2007より

### 世界のデジタル音楽売り上げは ほぼ倍増—拡大基調を継続

- デジタル音楽市場は堅調な成長を続けている。世界全体での売り上げは、前年比約2倍の20億USドルに達すると見込まれる。音楽市場売り上げ全体に占める割合は、2005年が5.5%であったのに対し、2006年は10%程度まで増加すると予測される。デジタル音楽の内訳は、世界全体で見ると、インターネットと携帯の割合はほぼ半々であるが、各国・地域の市場ごとに異なった比率である。
- アメリカでは2006年のシングル・トラック・ダウンロード数が、前年比65%増の約5億8,200万件に達したと見られている(Nielsen SoundScan調べ)。また2006年は、インターネット音楽配信事業者向けに、携帯電話を活用するプラットフォームが構築されるなど、アメリカ市場における携帯音楽の転換期となった。その流れはアップル社の携帯電話機参入といったかたちで2007年にも継続している。
- 世界のデジタル音楽売り上げの約20%を占めるヨーロッパ市場は、ほとんどの国で着実な成長が見られた。一方、売り上げ上位のイギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペインに売り上げが集中する状況が続いている。ヨーロッパでの、デジタル音楽市場の成長速度にはばらつきがあるものの、域内に320ものサービスがひしめき、複数の国で20種類以上の豊富なサービスが利用できる。
- アジアでは、2006年は3G携帯電話の進展やフル・トラック配信向けの音楽・映像コンテンツの充実などを背景に、携帯音楽がさらなる成長を遂げた。アジアは、世界のデジタル音楽売り上げの約25%

を占めており、日本、韓国、中国、インドネシアが牽引している。その中で日本市場は実に約90%が携帯音楽であり、2006年も引き続き強い成長力を示している。市場は成熟しつつあるがいまだ成長のポテンシャルを有しており、高機能端末の普及に伴い、先進的な「携帯文化」を形成している。韓国は、アジア第2の巨大なデジタル音楽市場を持ち、デジタル音楽売り上げ(音楽全体の57%)がパッケージ音楽売り上げを上回る世界唯一の国となっている。一方、中国のデジタル音楽ビジネスはまだ小規模であるが、4億3千万人を超える携帯電話加入者数、急速に普及するブロードバンドなどを背景に、破壊的レベルのパッケージ海賊版市場を脱却して、一気にデジタル音楽市場が飛躍的成長を遂げる可能性を秘めている。しかし、その成功は、知的財産権の保護・強化への取り組みが鍵となっている。

### デジタル音楽が導く音楽購買行動の多様化

- 2006年のシングル・トラック・ダウンロードは、前年比89%増の7億9,500万件に達すると見込まれる。パッケージとデジタルを合計したシングル売り上げ見込みの約9億のうち、デジタルの占める割合は80%以上(IFPI調べ)になると予測される。デジタルにおけるシングル市場拡大の背景として、アルバム楽曲を個別入手することの利便さを、数多くのユーザーが認識し始めたことが挙げられるだろう。
- シングル・トラック・ダウンロードとマスタートーン(着うた等)は、デジタル音楽サービス形式の主流として依然その地位を譲らないものの、携帯電話によるシン



グルのフル・ダウンロード、インターネット配信によるアルバム・ダウンロード、音楽ビデオ配信、リング・バック・トーン（待ちうた等）といった他のサービスも、すべて順調な伸びを示した。

## 携帯電話の普及をベースに成長する携帯音楽

- 携帯音楽は、手軽に購入できることや支払いのインフラ環境が確立されていることなどに支えられて、着実に成長している。当初、市場は着メロに牽引されたが、ユーザーニーズは着うた等のリアルな音楽、さらにはフル・トラック・ダウンロードへ移行している。また携帯電話端末は、多機能化に伴って携帯音楽プレーヤーとして活用されるようになっており、アップル社のiPhone投入により、その流れは加速するものと見られている。しかし、特に高機能な3G携帯は、アジアで限定的に普及率が高くなっていることを除けば、浸透スピードは緩やかである。

## 新たな収益源やビジネスモデルの台頭

- ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)のサイトは世界的に爆発的な人気を博し、デジタル・エンタテインメント市場に多大な影響をもたらしている。各国のSNSを通じて、音楽ファンの巨大なネットワーク・コミュニティが生まれ、新機軸のマーケティング展開や、新しい音楽・映像コンテンツの提供チャネルができる可能性は広がるだろう。広告収入をシェアする広告支援型のビジネスモデルも、レコード会社の大きな収益源となる可能性を秘めている。そのプロセスで音楽ビデオ配信も、収益源の一つに成長してきた。その一方で、インターネット広告と連携する広告投資型のビジネスモデルが、レコード会社の新たな収益源になりつつある。2006年、広告主は放送や印刷物といった既存の媒体に加え、インターネット広告へ予算を振り向けるようになった。2010年にはインターネット広告が伝統的なラジオ広告を上回るという予測もある(フォレスターリサーチ調べ)。

## 携帯音楽プレーヤーの普及が、デジタル音楽消費を後押し

- 2006年の携帯音楽プレーヤー総売り上げ台数は約1億2,000万で、前年より43%増加した(Understanding and Solutions調べ)。携帯音楽プレーヤーの所有者は、通

常のインターネット・ユーザーに比べ、合法にデジタル音楽を購入する傾向が高いものの、デバイスに保存する楽曲のうち、購入したものの占める割合は依然低い。

## 広がるデジタル音楽の選択肢

- インターネット音楽配信サービスは、世界40カ国以上で498に達し、ユーザーに豊富な選択肢と、値ごろ感のある商品を提供している。またインターネットで購入可能な楽曲数は400万曲を超え、昨年1年間で倍増した。一方、従来のリアルショップの購入可能数は、最大規模の店舗でもCDアルバム15万枚程度となっている。商品ラインアップを無限に広げられるというデジタル市場の強みは、レコード会社とユーザーの共通認識となり、レコード会社によるカタログの充実、フォーマットや販売チャネルの多様化は確実に進行している。

## デジタルがクラシック音楽を活性化

- アメリカでは、クラシック音楽が23%増と、最も成長の早いジャンルとなった。曲によっては、例外的に高い売り上げを記録したケースもあった。

## 提訴活動が不正行為の抑止に影響力を発揮

- 2006年には、不正アップローダー1万人以上に対し、ブラジル、メキシコ、ポーランド、ポルトガルを含む18カ国において、初めて提訴が実施された。平均的な賠償金額は現在2,420ユーロとなっている。ジュピターの最近の調査で、ヨーロッパでは世帯ブロードバンド利用率が30%増加したにも関わらず、違法ファイル交換は昨年並みに抑制されたことが明らかとなった。また今後、多岐にわたるインターネット海賊に対抗していくためには、門番の役割を担うISP事業者との連携がカギになると見られ、各国でアクセス制限の取り決めを含めて、さまざまなレベルでの施策が検討され、協議が行われている。

## 実況中継を残す

レコード史研究家 倉田 喜弘

昭和天皇の即位式は1928年(昭和3年)11月10日、京都御所で行われた。大阪放送局は万全の態勢を整えて、烏丸通りの御幸や即位式の模様を実況中継する。このときビクターレコードは、大阪局の了解を得て放送からレコードをプレスした。「御大礼行幸実写」と「紫宸殿御即位式の実況」で、12月1日に発売された。

天皇陛下が伊勢神宮へ奉告されたのは、11月20日(外宮)と21日(内宮)である。中継放送する名古屋放送局の協力で、ツルレコードは「伊勢神宮御親謁実写」2枚を29年1月新譜にした。昭和の盛儀が円盤に残った。

実況中継のアナウンスを、レコードではなく活字に起こせばどうなるか。月刊雑誌『文藝春秋オール読物号』12月号が掲載した早慶戦が、その答えを出してくれる。

31年(昭和6年)の早慶戦は大人気で、ラジオ屋の店頭は黒山の人だかり。当時の両校には、のちにプロ野球の名監督と称えられる水原茂(慶応)と三原脩(早稲田)がいる。10月20日午後2時30分に始まった試合は、1-1で9回裏を迎えた。中継担当の松内則三はアナウンスする。

夕闇迫った神宮球場、  
息づまる如き6万の観衆はみな沈黙。

水原がヒットを放った。「夕闇迫る神宮球場、  
風雲いよいよ急」とも描写される。

この「ラヂオ大放送の記録」が、「早慶大野球戦」の題で掲載された。東京放送局は文藝春秋社に、著作権侵害だと抗議する。文藝春秋社の経営者は、「文壇の大御所」と言われた

菊池寛である。著作権の帰属は松内か放送局が明らかでないため、「謝罪する筋はない」と突っぱねたが、早期解決を願って放送局の求める「許可願」を提出、一件は落ち着いた(11月7日付『東京朝日新聞』)。

早慶戦の実況放送が『文藝春秋オール読物号』を飾ったのは、実はこのときが2度目である。4カ月前の8月号「早慶大決勝戦記」が日本初の放送速記掲載。しかしそのときは、放送局から何のクレームもなかった。なぜ12月号で問題になったのであろうか。

なおレコードに残る早慶戦は、いずれもスタジオで作られた架空実況である。

次は36年(昭和11年)8月のベルリン・オリンピック。前畑秀子は女子200メートル平泳ぎに出場、地元ドイツのゲネンゲルと競り合った末、栄冠を勝ち得た。11日夜、実況を担当する河西三省アナの声は、日本中を興奮の渦に巻き込む。このとき歴史的な大競技を残そうと、ポリドールレコードの一技術者が Cutter を下ろした。レコードは9月初めに発売、今に残る貴重な秘話も生まれた。



平泳ぎ前畑選手の活躍を録音したレコード



倉田 喜弘(くらた よしひろ)

1931年大阪市に生まれる。54年大阪市立大学経済学部卒業後88年まで日本放送協会勤務。近代芸能史研究家。著書に『明治大正の民衆娯楽』(岩波新書)、『芝居小屋と寄席の近代』(岩波書店)、『1885年ロンドン日本人村』(朝日新聞社)、『「はやり歌」の考古学』(文春新書)、校注書に『日本近代思想大系』18『芸能』(岩波書店)などがある。

## 第21回 日本ゴールドディスク大賞授賞式について

当協会主催の第21回日本ゴールドディスク大賞の授賞式は、受賞アーティスト出席のもと下記要領にて実施します。

なお、当日の様子は次号にてお知らせします。

■日時：2007年3月13日(火) 18:00~19:00

■会場：赤坂プリンスホテル「五色」

■司会：赤坂泰彦氏

■概要：メディアを対象とした記者会見形式

第21回各賞の受賞作品・アーティスト発表ならびに表彰音楽配信実績による賞の新設

※なお、今回は、ライブパフォーマンス、テレビ中継は行いません。

## 2006年度「Respect Our Music」第3弾キャンペーン 始まる

昨年11月号でも紹介しましたが、当協会は現在2006年度の「Respect Our Music」キャンペーンを展開中です。

当キャンペーンは、音楽の不正コピー・アップロード対策として、音楽関連団体、作詞・作曲家、アーティスト、販売店、音楽専門メディア等音楽業界など関係諸団体の協力得て、音楽を正しく聴くことの大切さを広く社会に理解してもらうことを目的に、2002年秋から継続的に展開しています。今年度は、平原綾香さん、w-inds.さん、北山たけしさんの計3組のアーティストにご協力のもと、昨年10月から展開中です。

今年度、第3弾となる北山たけしさんの展開では、2月16日から全国レコード店でのポスター掲出、当協会公式サイト(PC・モバイル)上での特集ページの設置、アーティスト動画メッセー

ジの発信、広告出稿、レコード会社・音楽関係団体・インターネットプロバイダー等の各サイト上のリンクバナー掲出、オリジナルギフトカードによるパブリシティー等を実施しています。(6頁にも関連記事を掲載)



## YouTube社代表らが来日、著作権侵害防止策を協議

アメリカの動画投稿サイト「YouTube」上に、テレビ番組をはじめとする多数の映像作品が権利者に無断で掲載されている事態に対して、当協会を含む23の著作権関係権利者の団体・事業者（以下、23団体・事業者）が昨年12月4日付で書面を送付、YouTube社はこれを受けて12月15日付で、著作権防止についての同社の考え方を示す一方、同代表が来日して協議を行う旨の回答がありました。

2月6日、YouTube社代表らが来日し、JASRACにて、23団体・事業者代表と会談、先に送付した要請の内容と同社からの回答をもとに、YouTubeサイトでの著作権侵害防止について協議しました。この会談において、23団体・事業者代表はYouTube者側に、改めて著作権侵害行為の未然防止について具体的対策の実施を要請、同社がそれに答えるなど意見のやりとりが行われました。

YouTube社側は、現時点で早急に対応できる対策として、ユーザーが映像をアップロードする際に、日本語表記で映像コンテンツの権利者に無断でアップロードしないよう警告を表示することを約束しました。また、ユーザー名等の登録、違法利用者のアカウント停止、さらには著作権侵害防止の技術面での問題も話し合わせ、YouTube社側は、アカウント停止など現行の運用で対応している部分もあるが、技術面では同社のオーナー会社であるgoogle社の協力により根本的な対策へ向けて努力することを表明しています。

また、これらの著作権侵害防止への対策については、今後も23団体・事業者と同社と継続して協議することを確認しています。

### ※YouTube社来日メンバー

Chad Hurley (CEO)氏、Steve Chen (CTO)氏、  
Google社 David Eun (VP,Contents Partnership)氏

## 第2回廃盤CDディスクカウントセール終了

当協会加盟26社は、2006年10月27日から11月10日、および2007年1月26日から2月9日、インターネットを利用した通信販売による「レコードファン感謝祭2006～廃盤CDディスクカウントセール～」を開催しました。

以下に、今回のセールの結果概要をご報告致します。

出品タイトル数	3,548 タイトル
出品枚・巻数	89,447 枚・巻
登録件数	5,576 件
購入件数	3,627 件
総売上枚・巻数	23,482 枚・巻
総売上金額(税込)	21,361 千円
平均購入金額(税込)	5,829 円
平均購入枚・巻数	6.5 巻

## 当協会高杉事務局長、 中国貿易投資円滑化等協力研修事業で講義



講義の様子

(財)海外技術者研修協会(AOTS)が主催する2006年度貿易投資円滑化等協力研修事業「著作権・集中管理コース」(協力:中国国家版權局、経済産業省)が、

2月1日から2日にかけて中国北京にて開催され、当協会高杉事務局長が「日本におけるレコード製作者の権利の集中管理について」のテーマで講義を行いました。

この研修事業では、「日本における著作権集中管理に関する経緯と現状」、「複写権の集中管理について」、「日本におけるレコード製作者の権利の集中管理について」、「日本における実演家の権利の変遷とその実務について」の4つのテーマで講義が行われ、中国国家版權局などの行政官、裁判官、研究者、集中管理団体職員等約80名が参加しました。

この中で、高杉事務局長が講師を務めた「日本におけるレコード製作者の権利の集中管理について」の講義では、商業用レコードの二次使用料および貸与報酬等の指定団体制度と、昨年10月8日からスタートした商業用レコードを用いた放送番組のネットワークにおける二次利用に係るレコード製作者の権利の一任型管理事業を中心に説明が行われ、受講者達は熱心に聴講するとともに、活発な質疑がなされ、活気ある研修となりました。

## シンポジウムで当協会佐藤会長スピーチを行う

2月21日、東京都千代田区の憲政記念館で文化芸術推進

フォーラム主催のシンポジウム「これからの文化振興政策への提言—基本方針の制定を受けて—」が開催されました。

文化庁高潮次長が、国が取り組む文化芸術の振興に関する



スピーチの様子

基本方針について講演された後、本フォーラムを構成する14団体のうち7団体の代表がスピーチを行いました。当協会の佐藤会長は音源のアーカイブの重要性を訴えました。本シンポジウムには180名以上の方々に参加され、文化芸術振興について多角的に考える機会となりました。

## 当協会理事変更

### ■新任(2月13日付)

ダニエル・ディチーコ((株)BMG JAPAN代表取締役社長)

### ■退任(1月31日付)

野村正憲((株)BMG JAPAN前代表取締役)

## 新会員社加盟のお知らせ

### ■新入会(3月1日付)

社名: ヴィーナスレコード株式会社(準会員)

代表: 代表取締役 原 哲夫

住所: 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-8-7

TEL: 03-3262-1777

### ● 2007年2月会議メモ

- 2・6 法制委員会
- 2・7 マーケティング委員会  
レンタルレコード委員会
- 2・8 広報委員会
- 2・9 情報・技術委員会  
私的録音委員会  
レコード倫理審査会
- 2・15 二次使用料委員会
- 2・16 執行委員会
- 2・19 アジア音楽市場拡大委員会
- 2・23 理事会  
日本ゴールドディスク大賞委員会
- 2・27 レンタルレコード委員会

## 2007年1月度レコード生産実績

1月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)生産実績は、数量で前年同月比100%の2,296万枚・巻、金額で同102%の254億円となりました。このうち、オーディオレコードは、数量で前年同月比98%の2,006万枚・巻、金額で同102%の224億円となりました。また、音楽ビデオは、数量で前年同月比114%の290万枚・巻、金額で同103%の30億円となりました。

### ● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

		1月実績						2007年1月～2007年1月累計						
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
シ	8cmCD	邦	20	0	5%	11	0	37%	20	0	5%	11	0	37%
		洋	49	0	505%	7	0	158%	49	0	505%	7	0	158%
		計	69	0	17%	18	0	53%	69	0	17%	18	0	53%
ン	12cmCD	邦	4,476	22	86%	3,333	15	82%	4,476	22	86%	3,333	15	82%
		洋	16	0	57%	13	0	73%	16	0	57%	13	0	73%
		計	4,492	22	85%	3,346	15	82%	4,492	22	85%	3,346	15	82%
ル	小計	邦	4,496	22	80%	3,344	15	81%	4,496	22	80%	3,344	15	81%
		洋	65	0	169%	21	0	90%	65	0	169%	21	0	90%
		計	4,561	23	80%	3,364	15	81%	4,561	23	80%	3,364	15	81%
12cmCD アルバム	邦	8,793	44	104%	12,274	55	115%	8,793	44	104%	12,274	55	115%	
	洋	6,055	30	106%	6,100	27	94%	6,055	30	106%	6,100	27	94%	
	計	14,848	74	105%	18,374	82	107%	14,848	74	105%	18,374	82	107%	
CD 合計	邦	13,289	66	94%	15,617	70	106%	13,289	66	94%	15,617	70	106%	
	洋	6,121	31	107%	6,121	27	94%	6,121	31	107%	6,121	27	94%	
	計	19,410	97	98%	21,738	97	102%	19,410	97	98%	21,738	97	102%	
アナログ ディスク	邦	17	0	492%	34	0	1126%	17	0	492%	34	0	1126%	
	洋	3	0	36%	6	0	74%	3	0	36%	6	0	74%	
	計	20	0	183%	40	0	364%	20	0	183%	40	0	364%	
カセット テープ	邦	558	3	101%	407	2	86%	558	3	101%	407	2	86%	
	洋	1	0	1000%	1	0	339%	1	0	1000%	1	0	339%	
	計	559	3	102%	408	2	86%	559	3	102%	408	2	86%	
その他	邦	63	0	1004%	174	1	1596%	63	0	1004%	174	1	1596%	
	洋	10	0	108%	20	0	120%	10	0	108%	20	0	120%	
	計	73	0	468%	194	1	708%	73	0	468%	194	1	708%	
合計	邦	13,927	69	95%	16,232	73	106%	13,927	69	95%	16,232	73	106%	
	洋	6,135	31	107%	6,147	27	94%	6,135	31	107%	6,147	27	94%	
	計	20,062	100	98%	22,379	100	102%	20,062	100	98%	22,379	100	102%	

### ● 音楽ビデオ

		1月実績						2007年1月～2007年1月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	邦	2,566	88	127%	2,427	81	115%	2,566	88	127%	2,427	81	115%
	洋	308	11	68%	509	17	74%	308	11	68%	509	17	74%
	計	2,874	99	116%	2,936	98	105%	2,874	99	116%	2,936	98	105%
テープ・LDその他		27	1	39%	51	2	45%	27	1	39%	51	2	45%
合計	邦	2,593	89	125%	2,476	83	112%	2,593	89	125%	2,476	83	112%
	洋	308	11	67%	511	17	74%	308	11	67%	511	17	74%
	計	2,901	100	114%	2,987	100	103%	2,901	100	114%	2,987	100	103%

### ● 音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	1月実績						2007年1月～2007年1月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	20,062	87	98%	22,379	88	102%	20,062	87	98%	22,379	88	102%
音楽ビデオ	2,901	13	114%	2,987	12	103%	2,901	13	114%	2,987	12	103%
合計	22,963	100	100%	25,366	100	102%	22,963	100	100%	25,366	100	102%

### ● ビデオ(含音楽ビデオ)

	1月実績						2007年1月～2007年1月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	6,041	99	85%	10,941	99	101%	6,041	99	85%	10,941	99	101%
テープ・LDその他	58	1	44%	140	1	50%	58	1	44%	140	1	50%
合計	6,099	100	84%	11,081	100	100%	6,099	100	84%	11,081	100	100%

### ● オーディオ/ビデオ合計

	1月実績						2007年1月～2007年1月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	20,062	77	98%	22,379	67	102%	20,062	77	98%	22,379	67	102%
ビデオ	6,099	23	84%	11,081	33	100%	6,099	23	84%	11,081	33	100%
合計	26,161	100	94%	33,460	100	102%	26,161	100	94%	33,460	100	102%

備考 1. 上記実績は、会員会社「43社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。  
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。  
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

## 2006年第4四半期および2006年年間 有料音楽配信売上実績

当協会加盟全社の集計による2006年第4四半期(2006年10月1日～12月31日)および2006年年間の有料音楽配信売上実績がまとめられました。

2006年第4四半期も、インターネット・ダウンロード、モバイルとも引き続き伸長し、インターネット・ダウンロードが、数量で前年同期比127%の631万回、金額で前年同期比155%の13億4,816万円、モバイルが、数量で前年同期比117%の9,035万回、金額で前年同期比143%の136億3,988万円となりました。また、有料音楽配信の金額の合計では、前年同期比144%の150億7,561万円となりました。

この結果、2006年度1-12月の累計では、インターネット・ダウンロードが数量で2,390万回、金額で50億2,681万円、モバイルが数量で3億4,414万回、金額で482億4,014万円となりました。また、金額合計が前年比156%の534億7,814万円となり、500億円の大台を越えました。

(第4四半期)

(数量:千回/金額:百万円)

	形態	2006年10月～2006年12月 累計			
		数量	前年同期比	金額	前年同期比
インターネット ダウンロード	シングルトラック	5,895	127%	919	161%
	アルバム	328	130%	400	137%
	小計 (オーディオダウンロード分)	6,222	127%	1,319	153%
	その他 (音楽ビデオ等)	92	166%	29	386%
	合計	6,314	127%	1,348	155%
モバイル	Ringtunes	56,218	101%	6,189	106%
	Ringback tunes	11,375	126%	778	176%
	シングルトラック	18,581	234%	5,946	237%
	その他コンテンツ	4,178	90%	727	91%
	合計	90,352	117%	13,640	143%
その他	その他 (その他のデジタル音楽コンテンツ)	0	2%	88	258%
総合計		96,667	117%	15,076	144%

(年間)

	形態	2006年1月～2006年12月 累計			
		数量	前年比	金額	前年比
インターネット ダウンロード	シングルトラック	22,369	249%	3,524	255%
	アルバム	1,132	307%	1,387	306%
	小計 (オーディオダウンロード分)	23,501	251%	4,911	267%
	その他 (音楽ビデオ等)	402	433%	116	830%
	合計	23,903	253%	5,027	272%
モバイル	Ringtunes	226,753	116%	24,609	118%
	Ringback tunes	45,602	195%	2,688	218%
	シングルトラック	55,824	246%	17,952	250%
	その他コンテンツ	15,961	99%	2,992	94%
	合計	344,140	133%	48,240	149%
その他	その他 (その他のデジタル音楽コンテンツ)	20	31%	211	229%
総合計		368,063	137%	53,478	156%

注:数量…ダウンロード回数

備考 1. 当統計は、会員会社「43社」の実績をとりまとめたもの。

2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

3. その他は、インターネット、モバイル以外のチャネルの配信による収入等の合計。

4. 数量:シングルは曲単位、アルバム他はそれぞれの構成単位での報告(例:アルバム1枚分のダウンロード回数は1回とし、曲数換算は行わない)

金額:会員会社収入

### 音楽ソフト

#### 邦楽

##### アルバム

###### ● ダブル・プラチナ

Golden Best~15th Anniversary~ 空創クリップ 夕風ブレンド	ZARD スキマスイッチ スキマスイッチ	2006.10.25 2005.07.20 2006.11.29	BG BMG BMG
---	----------------------------	--	------------------

###### ● プラチナ

HEART LOVE IS BEAUTIFUL I LOVE PARTY PEOPLE	伊藤由奈 GLAY DJ OZMA	2007.01.24 2007.01.31 2006.11.15	SR TO TO
---	-------------------------	--	----------------

###### ● ゴールド

記念ライダー1号 ~奥田民生シングルコレクション~ 記念ライダー2号 ~オクダタミオシングルコレクション~ ALL SINGLES BEST	奥田民生 奥田民生 スガシカオ	2007.01.17 2007.01.17 2007.01.24	SE SE BMG
--	-----------------------	--	-----------------

##### シングル

###### ● プラチナ

千の風になって 100万回のKISS フェイク	秋川雅史 GLAY MR.CHILDREN	2006.05.24 2007.01.17 2007.01.24	TE TO TF
-------------------------------	-----------------------------	--	----------------

###### ● ゴールド

Snowdome 最北航路 この世の限り 哀歌(エレジー) Rolling star	木村カエラ 香西かおり 椎名林檎×斉藤ネコ×椎名純平 平井 堅 YUI	2007.01.17 2006.03.22 2007.01.17 2007.01.17 2007.01.17	C UM TO DF SR
--	---	--	---------------------------

##### ビデオ

###### ● ゴールド

B'z LIVE-GYM 2006 "MONSTER'S GARAGE"	B'z	2006.12.20	ON
--------------------------------------	-----	------------	----

#### 洋楽

##### アルバム

###### ● ゴールド

ノット・トゥ・レイト	ノラ・ジョーンズ	2007.01.24	TO
------------	----------	------------	----

※日付は発売日

#### 認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた(R)、着うたフル(R)、パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上

以降、100万毎に賞を設定

基準単位：音楽ソフト・枚、配信・DL(ダウンロード)  
※着うた(R)のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※AI：ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/  
AVT：エイベックス・エンタテインメント/BG：ビーグラム  
レコーズ/BM：パーミリオンレコード/BMG：BMG  
JAPAN/C：コロムビアミュージックエンタテインメント/  
CR：日本クラウン/DF：デフスターレコーズ/DRM：ド  
リミュージック/EP：アップフロントワークス(セティマ  
レーベル)/ES：EPICレコードジャパン/FK：ファイブ  
ズエンタテインメント/FL：フォーライフミュージックエンタ  
テインメント/GN：ジェネオン エンタテインメント/GZ：  
ギザ/HSE：Hostess Entertainment Unlimited/HY：東  
屋慶名建設/JA：ジェイ・ストーム/JE：ジャニーズ・エン  
タテインメント/JK：ユナイテッド・アジアエンターティ  
メント/K：キングレコード/KS：キューンレコード/  
MC：ミュージチャー・コミュニケーションズ/MH：ソニー・  
ミュージックダイレクト/ON：ビーヴィジョン/PAR：プ  
ライエイド・レコーズ/PC：ポニーキャニオン/PK：ピッ  
コロタウン/PZ：ピザ・オブ・デス・レコーズ/QQ：パー  
ムビーチ/RR：ロードランナー・ジャパン/SE：エスエム  
イーレコーズ/SI：ソニー・ミュージックジャパンインター  
ショナル/SM：ミュージックレイン/SN：SENHA &  
CO./SR：ソニー・ミュージックレコーズ/SV：アニプレッ  
クス/TE：テイチクエンタテインメント/TF：トイズファク  
トリー/TJC：徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO：  
東芝EMI/UM：ユニバーサルミュージック/V：ビクター  
エンタテインメント/WJ：ワーナーミュージック・ジャパン/  
XL：アンリミテッドグループ/YR：アール・アンド・シー

### 有料音楽配信(「着うた(R)」他)

#### 「着うた(R)」

###### ● 2ミリオン

マタアイマショウ アゲアゲ☆EVERY☆騎士	SEAMO DJ OZMA	2006.03.22 2006.03.22	BMG TO
---------------------------	------------------	--------------------------	-----------

###### ● ミリオン

ルパン・ザ・ファイヤー 宙船(そらふね)	SEAMO TOKIO	2006.07.12 2006.08.02	BMG UM
-------------------------	----------------	--------------------------	-----------

###### ● トリプル・プラチナ

Flavor Of Life -Ballad Version- DANCE2 feat. ソイソース(サビ) 運命	宇多田ヒカル ORANGE RANGE 倅田来未	2007.01.05 2006.11.15 2006.11.29	TO SR AVT
---	--------------------------------	--	-----------------

###### ● ダブル・プラチナ

Lovers Again Sweet Mom 何度でも 一色(サビver.) ロンドン・ブリッジ	EXILE 柴咲コウ DREAMS COME TRUE NANA starring MIKA NAKASHIMA ファーギー	2006.12.13 2005.09.20 2005.01.11 2006.11.08 2006.08.09	AVT UM UM AI UM
--	---	--	-----------------------------

#### 「着うたフル(R)」

###### ● ダブル・プラチナ

ここにしか咲かない花	コブクロ	2005.06.11	WJ
------------	------	------------	----

###### ● プラチナ

千の夜をこえて マイペース ルパン・ザ・ファイヤー 一色	Aqua Timez SunSet Swish SEAMO NANA starring MIKA NAKASHIMA	2006.11.22 2006.03.01 2006.08.02 2006.11.29	ES SM BMG AI
---------------------------------------	--	--	-----------------------

###### ● ゴールド

明日への扉 SAKURA Lovers Again DANCE2 feat. ソイソース 風 君という名の翼 ロード ロンドン・ブリッジ いつまでも響くこのmelody Rolling star	I WiSH いきものがかり EXILE ORANGE RANGE コブクロ コブクロ 虎舞竜 ファーギー mihimaru GT YUI	2005.02.23 2006.03.15 2006.12.13 2006.12.06 2006.09.29 2006.09.25 2004.03.02 2006.08.23 2006.09.01 2007.01.17	SE ES AVT SR WJ WJ CR UM UM SR
--	--	--	---

#### PC配信(シングル)

###### ● ゴールド

アゲアゲ☆EVERY☆騎士	DJ OZMA	2006.03.22	TO
---------------	---------	------------	----

※日付は配信開始日

## 協会からのお知らせ

INFORMATION SQUAREでもお知らせしましたが、当協会では現在、今年度「Respect Our Music」キャンペーンの第3弾、北山たけしさんの展開を実施中です。全国レコード店でのポスター掲出、当協会公式サイト(PC・モバイル)上での特集ページの設置、アーティスト動画メッセージの発信などを行っています。



**Respect  
our MUSIC**

<http://www.rom-m.jp/>



**THE RECORD No.568 2007年3月号**

社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 佐藤 修  
編集人 田辺 攻  
発行日 2007年3月10日  
発行 社団法人 日本レコード協会  
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F  
TEL. 03-6406-0510(代) FAX. 03-6406-0520(代)  
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフビーアイ・コミュニケーションズ

### 編集後記

生産実績から1カ月遅れとなりましたが、2006年の音楽配信売上がまとまりました。2005年から開始された本統計ですが、PC・モバイルとも順調に伸長し、シングルCD、音楽DVDにも匹敵する規模となりました。ユーザーにもレコード会社にも魅力的なこの新たな市場の登場が、音楽市場全体の活性化につながるよう期待されます。(S)